

SCCM2012を使用したAdobe製品の展開

背景

今回は、Microsoft製品System Center 2012 Configuration Manager環境構築について紹介します。

お客様環境には複数のWindowsクライアントが存在しておりました。しかしクライアント及び導入している有償アプリケーション(主にAdobe製品)は一元管理されておらずOS・Adobe製品のライセンス数を中心に様々な管理上の問題を抱えていました。また、1パッケージおよそ15GB超のAdobe製品を各クライアントに個別インストールを実施しており、管理者の手間が多く発生していました。

そのような問題に弊社からMicrosoft社製資産管理ソフトSystem Center 2012 Configuration Manager(以下SCCM2012)を提案及び導入を実施し、管理上の様々な問題を解消させて頂きました。

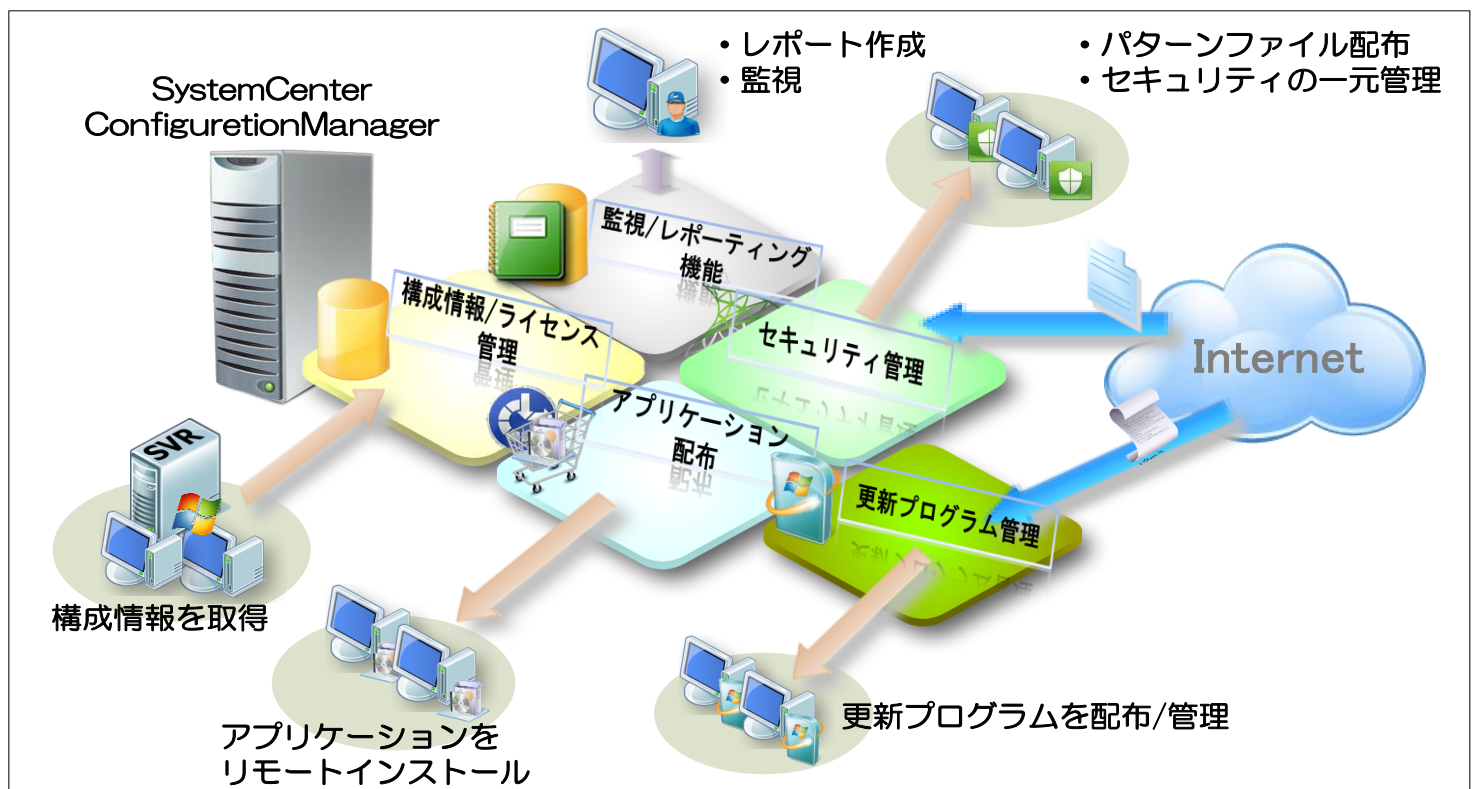
概要

作業規模	[サーバー] SCCMサーバー 1台
作業期間	3ヶ月
作業人数	2人

System Center 2012 Configuration Managerの全体構成

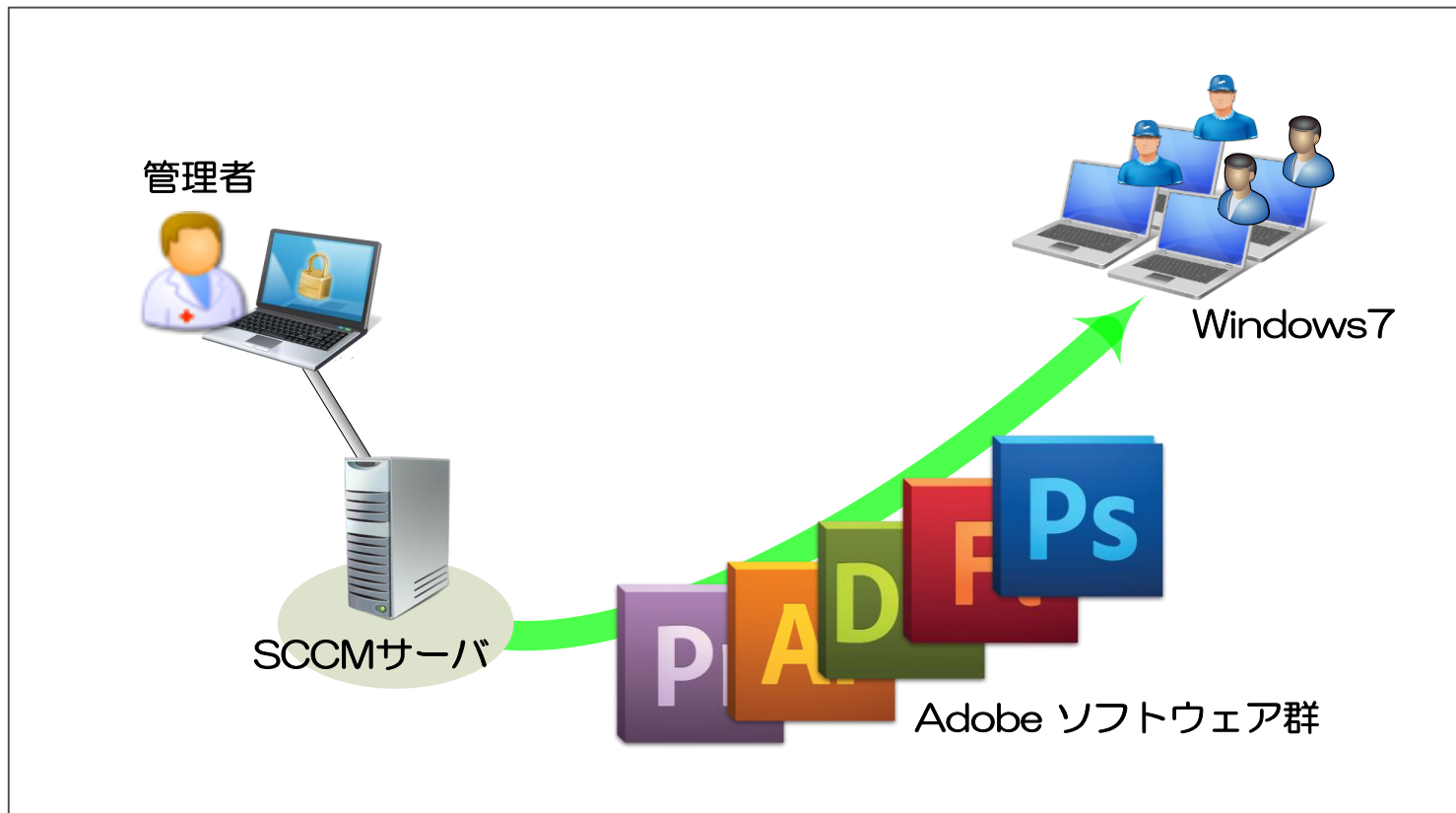
SCCM2012を使用して以下機能を提供しました。

- インベントリ収集/ライセンス管理 ⇒ ハードウェア・ソフトウェアの構成情報を収集し、ライセンスチェックや管理コンソールから纏めて参照する機能
- リモートコントロール ⇒ 管理コンソールからリモートでの管理、支援の提供、階層内の任意のコンピュータが表示できる機能
- 更新プログラム ⇒ WSUSと連携し、Windows更新プログラム(セキュリティパッチ)の展開を行う機能
- アプリケーション配布 ⇒ 管理コンソールからアプリケーションの展開を行う機能
- 監視/レポートング ⇒ 組織内のユーザー、ハードウェア、ソフトウェアインベントリ、更新プログラム、アプリケーションインストール情報等を参照・保存する機能



Adobe製品の一括配布

SCCM2012機能「アプリケーション配布」を使用し、15GB超の容量を持つAdobe製品に対してリモートインストール可能となった。



作業内容

基本設計

- OS設計
- データベース設計
- サイト設計
- SCCM機能設計
- バックアップ設計

成果物

- 基本設計書
- 詳細設計書
- 動作確認項目表兼結果報告書
- 運用手順書

環境構築

1. 基盤構築

- OS設計
- データベース設計
- サイト設計
- SCCM機能設計
- バックアップ設計

2. SCCM機能構築

- インベントリ収集機能
- 更新プログラム(セキュリティパッチ配布)機能
- アプリケーション配布機能
- リモートコントロール機能
- 監視/レポート機能

3. クライアント展開

- SCCM Client配布
- セキュリティパッチ配布
- アプリケーション(Adobe製品)配布

QA対応

- 導入後1ヶ月のQA対応

作業効果

管理者負担軽減、作業コスト削減

一元管理及び一括配布機能(SCCM2012)を導入し、管理者が個々のPCにセットアップしていた作業がリモート操作に変わり大幅に管理者の負担を軽減、また作業コストも削減された。

今後の展望

SCCM2012には今回実装した機能以外にも様々な機能が付随しています。SCCM2012には拡張性があり、以下機能を使用する場合、新たに別ソフトウェアを導入する必要がありません。

■電源管理

機能：電源消費量を監視、グラフ化する事で現状の把握及び電源プランの一元管理を行い、一貫性のある制御が可能

■オペレーティングシステムの展開

機能：OSのインストール及び各種設定や導入したソフトウェアを多数のクライアントPCに展開する事が可能

■ウイルス対策・マルウェア対策

機能：ウイルス対策ソフトを展開、SCCMで一元管理が可能

Adobe以外のアプリケーションを全てのPCに導入する要件があった際、一括配布機能により1オペレーションで配布可能となった。

また、SCCM2012には様々な機能が付随している。「ウイルス/マルウェア対策」「OS展開」等、SCCM2012は拡張性があり、新たに別ソフトウェアを導入する必要がない。

弊社利用による効果

● 弊社利用メリット

- 導入後はQA対応及び運用引継ぎを行う事でSCCM運用をサポート
- 本来実現が難しい大容量アプリケーションの展開もナレッジの多いIHSなら構成可能
- SCCM2012/バックアップ環境はWindows Server Backup、またはSCCM標準機能/バックアップから要件にあった提案が可能